



日付	2018/03/21	天気	晴れ
現地時間	-----	日本時間	PM22:00
本日の活動	2018.3.20-21 ニューヨークから札幌へ	Report No.	13

Events & Photos

本日をもって12日間の「29期海外修学旅行」が終了しました。ハーバード大学やマサチューセッツ工科大学での「グローバルリーダー養成プログラム」から始まり、たくさん研修を行いました。生徒たちにとって多くを学び、多くを考えることのできた素晴らしい研修旅行であったと思います。

本日は午前中から帰国に向けた移動を開始しました。ホテル出発前の最後の朝の会では、生徒代表の1組高木くんから「このメンバーで海外旅行をすることはこれまでもこれからのないことで、大変貴重な一生の思い出になることでしょう。家に帰るまでが修学旅行、最後まで班員同士協力して全力で楽しみましょう。」という言葉がありました。JFK国際空港から14時間のフライトを経て日本へと帰国しました。機内では旅の思い出を語らう生徒も多く、この旅がいかに充実した、実り多いものであったかが窺えます。

成田空港で離団する生徒もいましたので、成田到着後に29期修学旅行団の解団式を行いました。代表生徒の1組梶谷くんからは、「添乗員の方々や看護師さんには、この12日間、様々な場面で助けていただきました。私たちが旅程を完遂し、無事に帰ってくることができたのも皆さんのおかげです。」とこの旅行に携わってくれた方々への感謝を述べてくれました。

団長の岡本教頭先生からは「大きなけがや病気もなく、無事に帰ってこられたことは、29期生一人ひとりがそれぞれこの12日間を意識高く過ごしたことの現れでしょう。また、この春休みは今回の旅行で見聞きしたことを各自しっかりと反芻する時間としてほしいと思います。」と締めくくりのお言葉を頂きました。

成田空港から羽田空港まではバスで移動しました。羽田で離団する生徒も数名おり、仲間とのしばしの別れを惜んでいるようでした。羽田空港では短時間でしたが自由時間もあり、生徒たちは久々に日本の食事を味わったり、仲間との旅行最後の時間を楽しんだりしていました。

新千歳空港に到着したのは午後9時ころでしたが、多くの保護者の方や先生方に出迎えに来ていただきました。生徒諸君の成長した顔をご覧いただけたのではないのでしょうか。ここで行われた解散式では、2組田中君から「ハーバードやMITのこと、アメリカの人々の生活など多くのことを学ぶ機会となり、とても貴重な経験ができた。このような経験をさせてもらったことに感謝するという意味で



▲朝の会—高木君からの気を緩めず帰国しようという挨拶がありました



▲JFK空港ロビーにて



▲解団式—この旅行を経てみんなたくましくなりました

も、これで終わりにせずこの経験を将来に生かせるようにすることが大切だと思います」と最後の挨拶をしてもらいました。

出迎えに来てくださった谷地田校長先生からは、「北嶺の先輩たちは、修学旅行で見聞きしたことを、大学受験に向けての勉強や、自分たちの夢をかなえるための糧としてきました。その伝統を29期生も引き継ぎ、残りの二年間、努力して行って欲しい。」という労いと励ましの言葉を頂きました。

この12日間は、29期生にとって様々なことを見聞きし、いろいろな人と出会い、新たなことを数多く学ぶ取ることができた素晴らしい日々だったに違いありません。私たち引率団も、彼らが日に日にたくましく、立派に成長していく様を見ることができました。明日からは春休みです。まずは長旅の疲れをしっかりと癒し、また、教頭先生からの言葉にもあったように、この旅行から多くのことを考え、学んでほしいと思います。

最後に、この29期修学旅行をご支援くださった皆様、本当にありがとうございました。これをもちまして旅行記を終了とさせていただきます。

(文責 29期生学年団)



▲解散式—たくさんの保護者、先生方に迎えていただきました

